

# 安全安心のまちづくりをめざして

2010年が幕を開けました。皆様には希望に満ちた新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は悲惨な事件や事故が多く発生し、社会不安が増大した一年となりましたが、幸い大沢町においては大きな災害もなく平穏無事の1年でした。自治連合会の事業や諸活動も皆様のご支援ご協力をいただき、予定通り遂行できたことに改めてお礼を申し上げます。

今年も6400余名が犠牲になった阪神淡路大震災の発生から15年を迎えましたが、年明けの1月13日、カリブ海のハイチにおいて大規模な地震が発生し被害の拡大が続いています。自然災害の恐ろしさを痛感



1月号発行  
 大沢町のまちづくり協議会広報部  
<http://www.ozo.jp>

するとともに防災への取り組みを一層進めなければならぬ思いを強くしました。災害のない安全、安心のまちづくりに微力ながら努力をする決意です。年頭にあたり今年が皆様にとって幸せ多い年となりますようご祈念を申し上げます。

(乗井 幹雄)



新年明けましておめでとうございます。昨年は、婦人会並びに女性会活動にご協力いただき誠に有難うございました。21年度も後僅かを残す所までこられました事、感謝致しております。今後の予定としまして、1月23日に城崎へお別れ旅行「カニ鍋」をまた、2月12日には県民交流広場の料理教室「ピザ」を予定しております。多

くの方の参加を心よりお待ち致しております。まだまだ寒い日が続いております。お体には充分気を付けて頂きますように、そして引き続きご協力宜しくお願い致します。最後になりましたが、3月13日(土)9時30分より大沢婦人会並びにJA女性会の総会を行いたいと思えます。今年度は改選の年でもありますので一人でも多くの会員様の参加を心よりお待ちしております。

(西浦 美恵子)

## 中国・台湾より 大沢へ視察

去る1月11日(日)中国と台湾から4名の方が「まちづくり」視察のため大沢に来られました。福祉センターで、乗井自治連合会長の挨拶の後、北本副会長が、神戸地震当時の町内での取り組みや、その後現在に至っている様々な活動や「コンパクトタウン研究会」の活動を説明されました。皆さんは、どちらも最近大震災が起き被災された地域の出身で、早期の復興を目ざしさまざまな課題に取り

組んでおられます。大沢ファーマーズマーケットでは、出荷者の構成や、集客方法など、直売所の具体的な運営方法や、WTOで、農産物が自由化されたらどのような影響があるか」といった突如の国際的な質問もありました。

その後冷たい北風が吹き抜ける天気の中、「光山寺山」から日本的な農村風景の展望を楽しみました。

(藤本 喜郎)



光山寺にて

## 立派な大人に

成人を迎えて大人の仲間入りを果たし、自らを誇りに思い、嬉しさを感ずると同時に、これから自らの発言や行動に責任や自覚

# 二十歳になって

## 新成人 おめでとうございます

前中 麻里  
坂井 俊之  
弓場 翔平  
中西 皓哉  
辻 雄規  
尾中 淳志  
大西 剛史  
西浦 達也  
小前 陽

## 感謝を忘れず

今年、私は無事に成人式を迎えました。成人を迎えたという実感はあまりもてないのですが、社会との関わりあいが増え、責任

を持たなければならぬと思えます。社会で恥をかかない、常識のある立派な大人に成長していきたいと思います。いろいろな苦難にぶつかっても、一つずつ着実に乗り越えて成長していきたいと思えます。まだまだ未熟で子供ですが、今までに培ってきた事を活かして少しずつ大人への階段を登って行き、立派な大人へと成長していきたいと思えます。(大西剛史)

感というものをしっかり感じつつあります。まだまだ頼りのない面もありますが、こうして無事、成人式を迎えられたことを両親、家族、そして自分を支えていただいたすべての人に感謝し、その感謝の念を忘れることなく新成人として立派に社会に貢献できるように努力してまいります。どうか温かく見守っていただけたらと思います。(小前 陽)

## 激動の時代を生き抜いて

私は、大正もあと2日という大正15年12月23日に生まれたことになっていて。と言うのは、実際は半年前に生れたらしいが、子、今で言う未熟児で手足も細く、体も小さくてとても育たないだろうと入籍をためらったらしい。しかし半年近くなると順調に生育しこれならばということになり大正もあと2日と言う日に出生届を出したと当時を知る伯母たちがよく話してくれた。それ以来、昭和の激動の年を生き抜いたが不幸にも18歳の頃、事もあろうに当時は不治の



## 元気いっぱい明るく

明けましておめでとうございます。2010年、厄年。3度目の年女になってしまいました。初めて迎えた年女の時は6年生の時でしたから、ちよっぴり嬉しい気持ちでした。そして、とうとう今年、

病と恐れられた結核を患い生死の境を徘徊する日々を送ったが幸にも生きる命をいただき今日84歳に至るまでつつがなく元気に暮らしている。しかしこの歳になると、この幸せは自分の努力はさることながら、この歳まで生きられる体を産んでくれた亡き母（小生5歳の時他界、顔もわからない）に對し日に日に感謝の念が湧いて来る。毎晩就寝前に仏壇の母の写真的に向い「今日も元気に暮らすことが出来ました。この体を産んで下さったことに感謝します。」と手を合わせると、心なしか写真の母の口もとが微笑んで見える。至福のひとときである。(坂井容充)

大厄の36歳です。厄年と言うと何か災難にあうのではないかと心配になってしまいます。しかし、こんな年だからこそ、元気一杯で明るく笑顔で過ごしたいと思えます。もちろん健康にも気を使いますが！私が笑顔でいる事で家族たちも安心して過ごしてくれる。その願いを込めて。(丸山朱美)

2月歳時記

節分について

節分とは、立春、立夏、立秋、立冬など季節の改まる前日のことを呼びましたが、しだいに立春の前日だけを節分と指すようになりましました。この節分を境にして暦の上では翌日から春になります。

節分に豆まきをする慣わしは、奈良時代に中国から伝わったとされています。ちなみに「鬼は外、福は内」と大声で豆をまくのは、季節の変わり目には鬼などの妖怪や悪霊が集まり疫病や災いをもたらすと考えられていたため、豆をまくことによって自分たちの家か

ら鬼を打ち払おうとしたと言われている。 (参考文献・飯倉晴武著『日本人のしきたり』より)

(坂井 容充)

容器包装ごみの減量・資源化をすすめるために

北区で先行実施している「容器包装プラスチック」の分別収集。皆様のご協力のおかげで、収集されたプラスチックの品質は、最高のAランクの評価を2年連続で受けました。

今後この評価を維持・向上させるべく、①「中袋を使わない」 ②「異物を混ぜない」 ③「汚れを取る」 の3点についてご理解とご協力をお願いします。

特に中袋を使われますと、中袋に入っている容器包装プラスチックが全て異物として扱われ、リサイクルができません。きれいに分別していただいた資源を無駄にしないために、指定袋に入れる際には、中袋から出すようお願いいたします。

また、環境局北事業所では、「特定NPO法人「みじやばん」と協力して、容器包装ごみの減量にも取り組んでいます。事業所発行のニューズレターで「ショッピング」として紹介していますので、生活の中に少しでも取り入れてもらえればと思います。

農業塾終了間近

「よしー農業で食べていこう。」と夫婦で夢を描いたのは2年前のことでした。夫は農学部卒、実際に農場で働いていた経験もありますが、一方の私は全くの下素人。「まづは体験してみなくては」そう思い大沢農業塾に入塾しました。長靴をはくのも鍬を持つのも初め

で。虫を見つけてはギャーギャー叫んでいました。そして予想していた通り農作業は大変な重労働でした。知識ゼロの私でしたが、時に機械の力を借り受講生で協力し合いながら先生方の教えのままに作業していくと、立派な野菜を収穫することができました。先生方、近代農業のすばらしい技術に感謝しました。「次はこんな風に育ててみたい。」農業に対して受け身だった私でしたが、いつの間にかやりたいことがいっぱいになっていました。大沢町に小さな家を紹介して頂きました。兼業から始めていつか専業農家に。夢は始まったばかりです。

(農業塾受講生 坂東由規)



1月14日 とんど祭り

21年度

県民交流広場事業予定

- 2/12 料理教室
- 2/18 ふれあい昼食会
- 3/8 やまびこ茶屋全体会
- 3/21 ふれあい昼食会 (らぽーと)

おぼろちゃんのおすすめ

「ハハ」ハのいため煮

《材料》

レンコン 小2節

赤唐辛子 適量

白ゴマ 適量

砂糖 大1

酒 大1 しょう油 大3

《作り方》

① レンコンを薄く輪切りにして水にさらす。

② 油でレンコンを炒め透き通ってきたら砂糖、酒、しょう油を加えて炒め煮する。

③ 最後に白ゴマをふります。とても簡単で早くできお酒のつまみにもいいですよ。

歯ごたえがあるので子供のおかずにもなります。(下浦聡子)

サークル紹介

日西原ふるさと企画室

日西原ふるさと企画室は、日西原神楽保存会を前身とし、地域の伝統や自然・生活の中で「こんなことができたらいいな」「こんな

ふうになったらいいな」を話し合い考えていくグループです。伝統文化として大沢校や老健施設での獅子舞披露、パネル展示による地域自然保護の啓蒙などを実施、近年では大沢校に対してプルタブ収集の援助や秋祭りにおいての写真撮影会企画などを行ってきました。数多くの先人たちにより受け継がれてきた地域に残る生活と自然を、これからの青少年に引き継ぐために、自治会・協議会等への企画提案を行い微力ながらも活動していきたいと思っています。

(石井保行)

らぽーと情報

食材へのこだわり

「おおぞう」と出会って10年、「らぽーと」の食事サービス方針である「地産地消」を実現させるべく再び帰ってきました。献立は旬のものを中心に味にも見た目にもこだわり、現在、年間使用する6トのお米は100割大沢産。今年から野菜もおいしい「おおぞう」産にこだわっていきます。魚は毎日岡山から取寄せ、肉は仕入れか

俳句

…投…句…

初雀地に二三羽や降りて来し  
誰待つとなく着物着て三力日  
生きのびて足のよろけし初詣  
一年の計たたね間に初戎  
福寿草ほろ着ていても夫優し  
行く末を孫に託さん初田打ち  
福寿草拳やはらく朝の日に  
煩惱ときわめたるその身で除夜の鐘  
寒の雨病床の父眠りたり  
初句会みな賢人の顔ばかり

佐代子 澄子 弘昭 正枝 しろう たみえ 伸郎 三恵子

行事経過

- 12/26〜31 年末特別警戒
- 1/4 光山だより編集委員会
- 1/12 婦人会定例役員会
- 1/13 胃がん検診
- 1/14 ふれあい昼食会
- 1/15 学校公開デー
- 1/17 震災追悼記帳所開設
- 1/19 まちづくり部会定例会
- 1/22 子どもに関する委員会
- 1/23 婦人会お別れ親睦旅行

町民の動き

おくやみ

12/28 中大沢鼓田あき江さん93歳



篠宮章文



森田健作

ら加工まで同僚の「森田健作」が手がけております。昨年は、ふれあい昼食会、配食サービス、男の料理教室などお手伝いをさせていいただきました。私達は新鮮でおいしい「おおぞう」食材で、らぽーとでなければ味わえない食事サービスを提供していきます。どうぞ声をおかけください。  
「らぽーと」食事サービス部・篠宮章文  
Tel 078(954)1088